




MGU Chapel Letter

—第 39 号 2024 年 6 月 28 日— 発行：大学宗教センター



2024 年度 年間聖句

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



❖ 7月の大学礼拝のスケジュール

【12時10分～12時30分 礼拝堂にて】

前期の礼拝は7月22日（月）が最終になります！

7月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・7月1日（月） 金丸真 （仙台長命ヶ丘キリスト教会牧師）
- ・7月3日（水） 平賀真理子 （学院宗教主事）
- ・7月5日（金） 松本周 （一般教育部准教授）
- ・7月8日（月） 加藤秀久 （仙台南伝道所牧師）
- ・7月10日（水） 近藤誠 （仙台北教会牧師）
- ・7月12日（金） 佐々木哲夫 （学院長・理事長・宗教総主事）

～～～ 7月15日（月） 海の日のため休み ～～～

- ・7月17日（水） 栗原健 （大学宗教センター長）
- ・7月19日（金） 清水禎文 （教育学部教授）
- ・7月22日（月） 中家契介 （仙台黒松教会牧師）

* 聖書・讃美歌をお持ちください。

✦ 燃え尽きたときには ✦



大学生活で心配なことの1つに、「燃え尽き症候群（バーンアウト）」があります。頑張っていて活動していた人が、気づかぬうちに疲れやストレスをためて行く、ある日突然やる気を失ってしまうことです。朝起きることが難しくなったり、うつ気味になってしまうこともあります。毎日暑い上に期末試験が近いこの時期には、特に注意が必要です。

旧約聖書の中にも、それらしい体験をした人の話が登場します。紀元前 800 年代に活躍したとされる預言者エリヤです（列王記上 19 章 2-9 節）。エリヤは、神から離れてまやかしの信仰に堕ちてしまったイスラエル民族の人々を立ち返らせるために尽力しますが、彼を憎む王妃に脅されたことをきっかけに、心が崩れてしまいます。荒野に飛び出したエリヤは、神に向かって「もう十分です。わたしの命を取ってください」と叫びます。まさに「燃え尽き」状態です。

このエリヤの絶叫に対して、神はどう応えたのでしょうか。木蔭で眠り込んでしまった彼に、神は天使を通じてパン菓子と水を届けます。起き上がってそれを頬張ったエリヤは、再び横になって寝ました。メルヘンのような話ですが、古代パレスチナの人々は、こうした時には熟睡と食事が必要なことを知っていたのです。

後で戻って来た天使（新しい食事を持って来たのでしょうか）は、エリヤを起こすと、「起きて食べよ。この旅は長く、あなたには耐え難いからだ」（7 節）と言います。これは心に覚えたい言葉ですね。人生の旅を歩み続けるためには、腰を据えて食べて休まなくてはならない。このような余裕を、現代人は忘れてるように思えます。そのせわしなさが、燃え尽きてしまう人を増やしているのではないのでしょうか。

この箇所を読む時に思うのですが、エリヤを助けたのは、必ずしも文字通りの意味での天使ではなかったかも知れません。エリヤの絶望ぶりを心配した近くの村の人が、さりげなく食事を持って来て励ましてくれた・・・ということもあり得ます。人は、神に用いられて天使のような役割を果たすことがあるからです。

そう考えると、落ち込んだ時にそばにいて支えてくれる友人は、この天使のような存在ですね。言葉で思いを示せなくても、一緒に食事をするだけでも大きなサポートになります。この期末シーズン、互いに助け合って乗り切って行きましょう。（栗）

2024 年度キリスト教教育特別集会 講演動画配信のお知らせ

本学では毎年6月、社会で活躍されているキリスト者の方を招いて講演をしていただくイベントを開催しています。今年度は講堂の改修工事のため、対面の集会ではなく、講演の動画を配信することになりました。講師は、本学院の関係者である2名の方です。

8月5日までYouTubeで限定公開中です。ぜひご覧ください。動画のURLは下記の通りです。

NPO法人の活動から見えているもの —障がい者福祉の落とし穴—

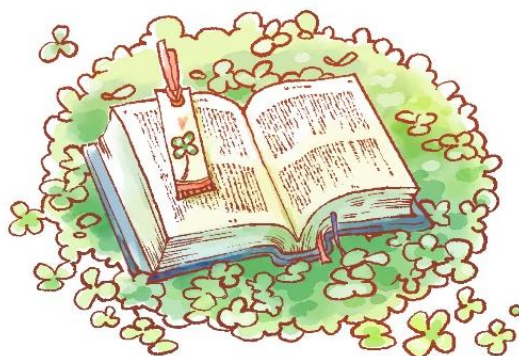
熊坂聡先生（宮城学院女子大学教育学科幼児教育専攻教授）

<https://youtu.be/Z9fx90ATgJc>

被災地支援の経験から ～あなたの創造主を心に留めよ～

金丸真先生（仙台長命ヶ丘キリスト教会牧師、中高非常勤講師）

https://youtu.be/lQo_23mWo4g



【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp